

稲沢市コミュニティバス  
及びコミュニティタクシー  
利用状況等報告書

平成 26 年 2 月

市長公室地域振興課

# 目 次

1	コミュニティバス事業の概要及び経緯	1
2	コミュニティバスの利用状況	1
(1)	コミュニティバスの1日当りの利用者数	1
(2)	コミュニティバスの1便当りの利用者数	4
(3)	コミュニティバスの曜日別利用者数	7
(4)	コミュニティバスの追加便運行状況	8
3	コミュニティタクシーの利用状況	10
4	コミュニティバスの利用者1人当りの運行経費における市負担額	17

## 1 コミュニティバス事業の概要及び経緯

稲沢市地域公共交通会議で協議した『コミュニティバス運行事業計画』に基づいて、平成20年7月1日から平成22年6月30日までの2年間、2路線（東西幹線、南北幹線）を乗車定員9人の運行車両3台（東西幹線2台、南北幹線1台）でコミュニティバスを、また、旧祖父江町区域内でタクシー車両によるコミュニティタクシーを試行運行しました。

同会議では、この期間における利用状況、乗降調査及び市民アンケートの結果を研究・分析し、『コミュニティバス運行事業計画』における課題と問題点を整理して、利便性の向上等を目的として運行路線、運行車両及び時刻表等の変更について協議検討を重ね、『同計画』の変更を行いました。

平成22年6月に中部運輸局から運行事業計画変更の認可を得て、平成22年7月1日から3路線4系統として祖父江・下津線（ふれあいの郷系統及び地泉院系統）を乗車定員14人の運行車両2台で、平和・千代田線及び大里循環線を乗車定員9人の運行車両2台の計4台によるコミュニティバスと、旧祖父江町区域内のコミュニティタクシーによる本格運行を開始し、3年7か月が経過しています。

この『報告書』は、平成22年7月1日（木）から平成26年1月31日（金）までの期間におけるコミュニティバス並びにコミュニティタクシーの利用状況についてまとめたものです。

## 2 コミュニティバスの利用状況

### (1) コミュニティバスの1日当りの利用者数

コミュニティバスの1日当りの利用者数は、2～3ページに掲載した表のとおりとなります。

試行運行期間（平成20年7月1日～平成22年6月30日）における1日当りの利用者数の平均は152人でしたが、本格運行を開始した平成22年7月1日から平成23年6月30日まで（本格運行1年目）の1日当りの利用者数の平均は183人（施行運行期間との比約20%増）となっています。

本格運行2年目となる平成23年7月1日から平成24年6月30日までの1日当たりの利用者数は210人となっており、1年目と比べて約15%増えています。

これは、祖父江・下津線と大里循環線の利用者数が運行1年目より増加したことによるものです。

本格運行3年目となる平成24年7月1日から平成25年6月30日までの1日当たりの利用者数は、214人となっており、2年目と比べて約2%の微増となっています。

本格運行4年目となる平成25年7月1日から平成26年1月31日までの7カ月間の1日あたりの利用者数は、226人となっており、3年目と比べて約6%の増加となっています。

○ コミュニティバス路線別の利用者数

単位：人

路線 月（ ） は運行日数	祖父江・下津線			平和・千代田線			大里 循環線 〔6便〕	合計	1日当り 利用者数
	JR 稲沢 駅方面 〔7便〕	祖父江 方面 〔8便〕	小計	市民会 館行き 〔4便〕	千代田・ 平和方面 〔4便〕	小計			
平成22年 7月(26日)	1,649	1,403	3,052	303	252	555	1,008	4,615	178
8月(26日)	1,672	1,458	3,130	322	324	646	940	4,716	181
9月(23日)	1,553	1,385	2,938	328	280	608	1,054	4,600	192
10月(25日)	1,646	1,482	3,128	350	285	635	954	4,717	189
11月(24日)	1,544	1,375	2,919	290	229	519	855	4,293	179
12月(23日)	1,545	1,351	2,896	304	247	551	832	4,279	186
平成23年 1月(23日)	1,341	1,172	2,513	267	264	531	755	3,799	166
2月(22日)	1,420	1,178	2,598	277	283	560	776	3,934	179
3月(26日)	1,795	1,560	3,355	323	332	655	965	4,975	191
4月(25日)	1,502	1,322	2,824	306	316	622	933	4,379	175
5月(23日)	1,492	1,321	2,813	250	247	497	975	4,285	186
6月(26日)	1,767	1,582	3,349	298	282	580	1,152	5,081	195
<b>1年目の計</b>	<b>18,926</b>	<b>16,589</b>	<b>35,515</b>	<b>3,618</b>	<b>3,341</b>	<b>6,959</b>	<b>11,199</b>	<b>53,673</b>	<b>183</b>
平成23年 7月(25日)	1,711	1,592	3,303	330	332	662	1,195	5,160	206
8月(27日)	1,912	1,689	3,601	320	301	621	1,295	5,517	204
9月(24日)	1,597	1,446	3,043	271	288	559	1,214	4,816	201
10月(25日)	1,807	1,618	3,425	284	294	578	1,283	5,286	211
11月(24日)	1,931	1,644	3,575	289	291	580	1,158	5,313	221
12月(23日)	1,858	1,580	3,438	296	261	557	1,210	5,205	226
平成24年 1月(23日)	1,534	1,320	2,854	266	247	513	944	4,311	187
2月(23日)	1,642	1,507	3,149	307	322	629	1,116	4,894	213
3月(26日)	2,030	1,788	3,818	307	309	616	1,188	5,622	216
4月(24日)	1,811	1,567	3,378	306	323	629	1,182	5,189	216
5月(24日)	1,730	1,576	3,306	286	260	546	1,161	5,013	209
6月(26日)	1,803	1,715	3,518	270	315	585	1,211	5,314	204
<b>2年目の計</b>	<b>21,366</b>	<b>19,042</b>	<b>40,408</b>	<b>3,532</b>	<b>3,543</b>	<b>7,075</b>	<b>14,157</b>	<b>61,640</b>	<b>210</b>

単位：人

路線 月（ ） は運行日数	祖父江・下津線			平和・千代田線			大里 循環線 〔6便〕	合計	1日当り 利用者数
	JR 稲沢 駅方面 〔7便〕	祖父江 方面 〔8便〕	小計	市民会 館行き 〔4便〕	千代田・ 平和方面 〔4便〕	小計			
平成24年 7月(25日)	1,778	1,657	3,435	324	358	682	1,212	5,329	213
8月(27日)	2,056	1,863	3,919	339	363	702	1,237	5,858	217
9月(23日)	1,633	1,524	3,157	247	250	497	1,143	4,797	209
10月(26日)	1,914	1,688	3,602	329	306	635	1,387	5,624	216
11月(24日)	1,835	1,643	3,478	303	282	585	1,231	5,294	221
12月(23日)	1,737	1,574	3,311	305	308	613	1,136	5,060	220
平成25年 1月(23日)	1,574	1,462	3,036	275	252	527	1,130	4,693	204
2月(22日)	1,557	1,445	3,002	285	241	526	1,041	4,569	208
3月(25日)	1,797	1,670	3,467	297	268	565	1,252	5,284	211
4月(25日)	1,835	1,649	3,484	288	300	588	1,173	5,245	210
5月(24日)	1,730	1,630	3,360	325	283	608	1,305	5,273	220
6月(25日)	1,791	1,770	3,561	311	292	603	1,339	5,503	220
<b>3年目の計</b>	<b>21,237</b>	<b>19,575</b>	<b>40,812</b>	<b>3,628</b>	<b>3,503</b>	<b>7,131</b>	<b>14,586</b>	<b>62,529</b>	<b>214</b>
平成25年 7月(26日)	2,036	1,978	4,014	387	330	717	1,485	6,216	239
8月(27日)	2,058	1,954	4,012	357	318	675	1,528	6,215	230
9月(23日)	1,823	1,693	3,516	320	294	614	1,296	5,426	236
10月(26日)	1,880	1,854	3,734	345	323	668	1,349	5,751	221
11月(24日)	1,701	1,678	3,379	372	300	672	1,276	5,327	222
12月(23日)	1,589	1,565	3,154	334	311	645	1,238	5,037	219
平成26年 1月(23日)	1,523	1,585	3,108	290	294	584	1,142	4,834	210
<b>4年目の計</b>	<b>12,610</b>	<b>12,307</b>	<b>24,917</b>	<b>2,405</b>	<b>2,170</b>	<b>4,575</b>	<b>9,134</b>	<b>38,806</b>	<b>226</b>
<b>合計</b>	<b>74,139</b>	<b>67,513</b>	<b>141,652</b>	<b>13,183</b>	<b>12,557</b>	<b>25,740</b>	<b>49,256</b>	<b>216,648</b>	—
<b>平均</b>	<b>1,724</b>	<b>1,570</b>	<b>3,294</b>	<b>307</b>	<b>292</b>	<b>599</b>	<b>1,145</b>	<b>5,038</b>	<b>206</b>

## (2) コミュニティバスの1便当りの利用者数

コミュニティバスの1便当りの利用者数は、4～5ページの表のとおりとなります。

本格運行1年目と比較した2年目、3年目における1便当りの利用者数の変化を路線別にみますと、祖父江・下津線 JR稲沢駅方面は1年目が9.2人、2年目が10.4人（1年目との比約13%増）、3年目も10.4人（2年目と同じ）、4年目も10.4人（3年目と同じ）同線 祖父江方面は1年目が7.1人、2年目が8.1人（1年目との比約14%増）、3年目が8.4人（2年目との比約4%増）、4年目が8.9人（3年目との比約6%増）となっています。

平和・千代田線 市民会館・中央図書館行きは1年目が3.1人、2年目が3.0人（1年目との比約3%減）、3年目が3.1人（2年目との比約3%増）、4年目が3.5人（3年目との比約13%増）、同線 千代田・平和方面は1年目が2.9人、2年目が3.0人（1年目との比約3%増）、3年目が3.0人（2年目と同じ）、4年目が3.2人（3年目との比約7%増）となっています。

大里循環線は1年目が6.4人、2年目が8.0人（1年目との比約25%増）、3年目が8.3人（2年目との比約4%増）、4年目が9.0人（3年目との比約8%増）となっています。

### ○ コミュニティバス1便当りの利用者数

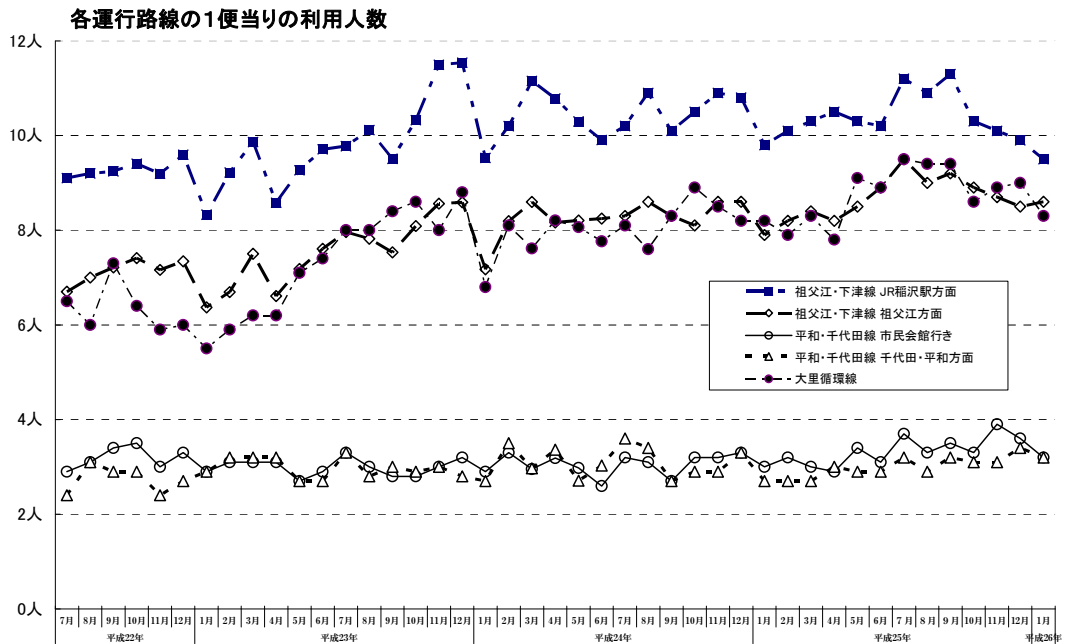
単位：人

路線 年月	祖父江・下津線		平和・千代田線		大里循環線 〔6便〕
	JR 稲沢駅方面 〔7便〕	祖父江方面 〔8便〕	市民会館行き 〔4便〕	千代田・ 平和方面 〔4便〕	
平成22年7月	9.1	6.7	2.9	2.4	6.5
8月	9.2	7.0	3.1	3.1	6.0
9月	9.2	7.2	3.4	2.9	7.3
10月	9.4	7.4	3.5	2.9	6.4
11月	9.2	7.2	3.0	2.4	5.9
12月	9.6	7.3	3.3	2.7	6.0
平成23年1月	8.3	6.4	2.9	2.9	5.5
2月	9.2	6.7	3.1	3.2	5.9
3月	9.9	7.5	3.1	3.2	6.2
4月	8.6	6.6	3.1	3.2	6.2
5月	9.3	7.2	2.7	2.7	7.1
6月	9.7	7.6	2.9	2.7	7.4
<b>1年目の平均</b>	<b>9.2</b>	<b>7.1</b>	<b>3.1</b>	<b>2.9</b>	<b>6.4</b>
平成23年7月	9.8	8.0	3.3	3.3	8.0
8月	10.1	7.8	3.0	2.8	8.0

単位：人

路線 年月	祖父江・下津線		平和・千代田線		大里循環線 〔6便〕
	JR 稲沢駅方面 〔7便〕	祖父江方面 〔8便〕	市民会館行き 〔4便〕	千代田・ 平和方面 〔4便〕	
9月	9.5	7.5	2.8	3.0	8.4
10月	10.3	8.1	2.8	2.9	8.6
11月	11.5	8.6	3.0	3.0	8.0
12月	11.5	8.6	3.2	2.8	8.8
平成24年1月	9.5	7.2	2.9	2.7	6.8
2月	10.2	8.2	3.3	3.5	8.1
3月	11.2	8.6	3.0	3.0	7.6
4月	10.8	8.2	3.2	3.4	8.2
5月	10.3	8.2	3.0	2.7	8.1
6月	9.9	8.2	2.6	3.0	7.8
<b>2年目の平均</b>	<b>10.4</b>	<b>8.1</b>	<b>3.0</b>	<b>3.0</b>	<b>8.0</b>
7月	10.2	8.3	3.2	3.6	8.1
8月	10.9	8.6	3.1	3.4	7.6
9月	10.1	8.3	2.7	2.7	8.3
10月	10.5	8.1	3.2	2.9	8.9
11月	10.9	8.6	3.2	2.9	8.5
12月	10.8	8.6	3.3	3.3	8.2
平成25年1月	9.8	7.9	3.0	2.7	8.2
2月	10.1	8.2	3.2	2.7	7.9
3月	10.3	8.4	3.0	2.7	8.3
4月	10.5	8.2	2.9	3.0	7.8
5月	10.3	8.5	3.4	2.9	9.1
6月	10.2	8.9	3.1	2.9	8.9
<b>3年目の平均</b>	<b>10.4</b>	<b>8.4</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	<b>8.3</b>
平成25年7月	11.2	9.5	3.7	3.2	9.5
8月	10.9	9.0	3.3	2.9	9.4
9月	11.3	9.2	3.5	3.2	9.4
10月	10.3	8.9	3.3	3.1	8.6
11月	10.1	8.7	3.9	3.1	8.9
12月	9.9	8.5	3.6	3.4	9.0
平成26年1月	9.5	8.6	3.2	3.2	8.3
<b>4年目の平均</b>	<b>10.4</b>	<b>8.9</b>	<b>3.5</b>	<b>3.2</b>	<b>9.0</b>
<b>通年の平均</b>	<b>10.1</b>	<b>8.0</b>	<b>3.1</b>	<b>3.0</b>	<b>7.8</b>

次のグラフは、本格運行開始後の1便当りの利用者数の推移を運行路線別に示したものです。



祖父江・下津線 JR稲沢駅方面は8人から12人、祖父江・下津線祖父江方面と大里循環線はおおむね6人から9人、平和・千代田線は市民会館行き、千代田・平和方面のどちらも2人から4人で推移しています。

各運行路線の1便当たりの利用人数の推移を見ますと、祖父江・下津及び大里循環線は、やや右肩上がりで増えています。

平和・千代田線は、他の2路線と比較して低調であり、ほぼ横ばいの状態が続いています。



### (3) コミュニティバスの曜日別利用者数

次の表は、平成 22 年 7 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの 1 日当りの利用者数を曜日別に示したものです。

3 路線とも月曜日から金曜日までの利用者数には大差ありませんが、土曜日における利用者数と平日における利用者数の平均を比較しますと、祖父江・下津線ふれあいの郷系統の土曜日は約 21%の減、地泉院系統は約 28%の減であり、平和・千代田線は差が無く、大里循環線は約 24%の減となっています。

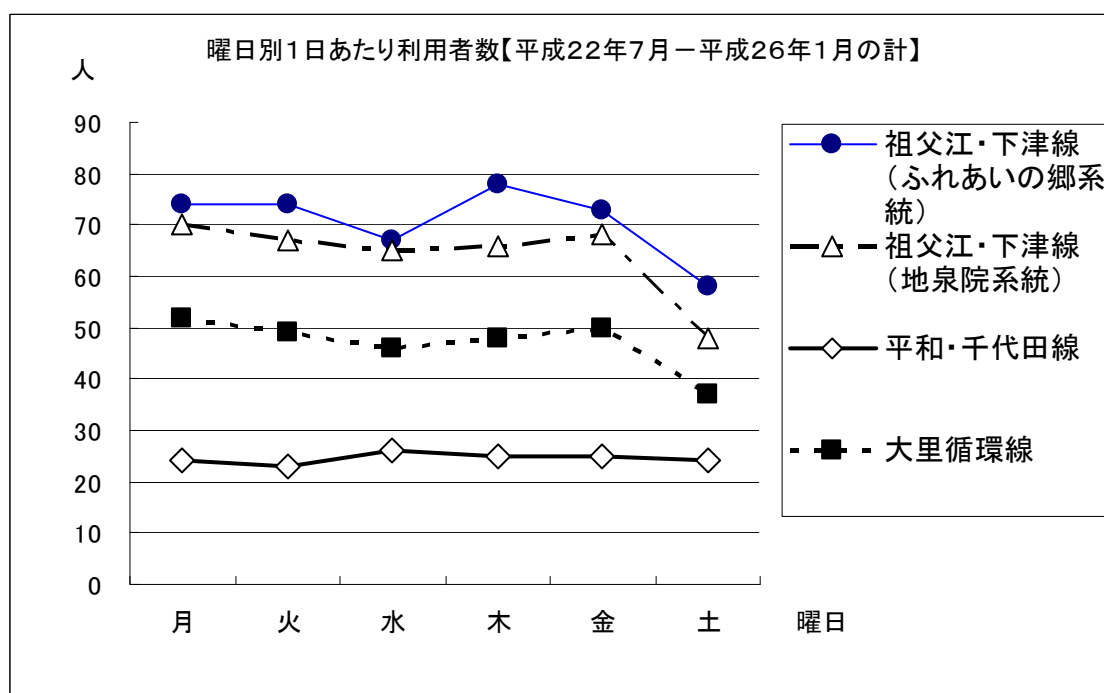
平和・千代田線以外の路線における土曜日の利用者数は、平日と比較して少なくなっています。

#### ○ 曜日別 1 日当りの利用者数

単位：人

路線 曜日	祖父江・下津線		平和・ 千代田線	大里循環線
	ふれあいの郷系統	地泉院系統		
月曜日	74	70	24	52
火曜日	74	67	23	49
水曜日	67	65	26	46
木曜日	78	66	25	48
金曜日	73	68	25	50
土曜日	58	48	24	37
平日の平均	73	67	25	49

次のグラフは、曜日別 1 日当りの利用者数を運行路線別に示したものです。



#### (4) コミュニティバスの追加便運行状況

定員超過発生時に運行した追加便の状況は、9～10ページの表のとおりです。

追加便の運行台数は、1日当りに換算すると、祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面が 0.4 台、同線 祖父江方面が 0.3 台、平和・千代田線 市民会館・中央図書館行きが 0.02 台、同線 千代田・平和方面が 0.01 台、大里循環線が 0.08 台と、試行運行期間における追加便の1日当りの運行台数（東西幹線上り 1.0 台、下り 1.2 台）と比べて大幅に減少し、恒常的に追加便が運行されていた状況は解消しています。

定員超過発生の解消を目的として乗車定員 14 人の運行車両を祖父江・下津線に導入したこと、また、利用者が多い区間「アピタ稲沢店～市民会館・中央図書館」を祖父江・下津線と大里循環線の路線で重複運行したことの効果が現れています。

このような状況にありますが、追加便の運行が生じやすい便は、祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面の第 3 便、第 4 便及び第 5 便、同線 祖父江方面の第 2 便となっています。

なお、祖父江・下津線の平成 23 年 11 月と 12 月の追加便の運行台数及び利用者数が他の月より増加しているのは、荻須記念美術館で「特別展 生誕 110 年記念 荻須高德展」が開催（平成 23 年 10 月 29 日（土）～12 月 18 日（日））されたため、区間「国府宮駅～美術館・保健センター」の利用者が多かったことによるものです。

この特別展開催期間における祖父江・下津線の追加便の運行状況をみますと、同線 JR 稲沢駅方面（ふれあいの郷または地泉院前⇒リーフウォーク稲沢）の追加便の運行台数のうち「美術館・保健センター⇒国府宮駅」は、10 月が 3 台（同月の 60%）、11 月が 20 台（同 61%）、12 月が 11 台（同 58%）であり、同線 祖父江方面（リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前）の追加便運行台数のうち「国府宮駅⇒美術館・保健センター」は、11 月が 11 台（同月の 61%）、12 月が 3 台（同 50%）となっています。

特別展終了後は、平成 24 年 3 月、4 月、8 月、12 月、平成 25 年 3 月から 5 月までの祖父江・下津線 JR 稲沢駅方面（ふれあいの郷または地泉院前⇒リーフウォーク稲沢）、平成 24 年 3 月、平成 25 年 4 月、7 月の同線 祖父江方面（リーフウォーク稲沢⇒ふれあいの郷または地泉院前）における追加便の運行台数及び利用者数の増加については、イベントや行事の開催等といった特段の理由はありませんが、これらの月は学校の春休み・夏休み・冬休み期間にあたり、他の月と比べて学生・生徒の利用が多かったことが理由の一つと考えられます。

○ 各路線の追加便運行状況

()は 運行日数	路線	祖父江・下津線				平和・千代田線				大里循環線	
		JR 稲沢駅方面		祖父江方面		市民会館行き		千代田・平和方面			
		台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数
平成 22 年											
7 月(26 日)		3	8	0	0	4	12	0	0	2	4
8 月(26 日)		7	22	2	3	2	4	0	0	1	1
9 月(24 日)		5	14	4	10	1	1	0	0	3	4
10 月(25 日)		4	8	1	1	2	6	0	0	3	7
11 月(24 日)		7	26	4	11	0	0	0	0	1	2
12 月(23 日)		4	9	2	5	0	0	0	0	0	0
平成 23 年											
1 月(23 日)		4	4	0	0	0	0	0	0	1	3
2 月(22 日)		2	6	0	0	1	1	0	0	0	0
3 月(26 日)		10	26	5	14	0	0	0	0	2	4
4 月(25 日)		3	4	2	5	1	2	0	0	0	0
5 月(23 日)		1	4	1	5	0	0	0	0	1	2
6 月(26 日)		8	22	1	1	0	0	0	0	1	4
7 月(25 日)		6	13	0	0	1	2	1	2	2	5
8 月(27 日)		9	22	8	22	0	0	0	0	1	1
9 月(24 日)		10	25	2	5	0	0	0	0	0	0
10 月(25 日)		5	13	8	15	0	0	0	0	3	9
11 月(24 日)		33	100	18	54	0	0	1	3	2	5
12 月(23 日)		19	52	6	15	0	0	0	0	3	7
平成 24 年											
1 月(23 日)		3	10	2	4	0	0	0	0	0	0
2 月(23 日)		9	25	6	21	0	0	0	0	3	4
3 月(26 日)		21	45	12	28	0	0	1	3	2	5
4 月(24 日)		14	42	6	15	2	4	1	2	1	1
5 月(24 日)		8	21	6	15	0	0	0	0	2	4
6 月(26 日)		6	14	8	21	0	0	0	0	1	4
7 月(25 日)		5	14	8	16	0	0	1	3	1	1
8 月(27 日)		21	59	6	12	0	0	0	0	4	8
9 月(23 日)		3	9	6	15	0	0	0	0	0	0
10 月(26 日)		11	29	5	12	0	0	0	0	2	6
11 月(24 日)		10	26	7	10	0	0	0	0	0	0
12 月(23 日)		14	33	9	23	0	0	0	0	1	3

()は 運行日数	路線		祖父江・下津線				平和・千代田線				大里循環線	
	JR 稲沢駅方面		祖父江方面		市民会館行き		千代田・平和方面					
	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数	台数	人数		
平成 25 年												
1 月(23 日)	6	12	5	14	0	0	0	0	1	1		
2 月(22 日)	8	14	4	11	0	0	0	0	2	3		
3 月(25 日)	16	53	5	10	0	0	0	0	5	10		
4 月(25 日)	18	48	10	28	0	0	0	0	1	2		
5 月(24 日)	12	40	9	20	0	0	0	0	5	15		
6 月(25 日)	5	10	11	19	0	0	0	0	1	1		
7 月(26 日)	8	19	20	56	0	0	0	0	2	2		
8 月(27 日)	9	25	12	32	0	0	0	0	5	12		
9 月(23 日)	17	50	16	47	0	0	0	0	3	9		
10 月(26 日)	14	37	16	42	0	0	0	0	1	1		
11 月(24 日)	11	71	16	59	4	16	0	0	0	0		
12 月(23 日)	7	23	10	31	0	0	0	0	8	16		
平成 26 年												
1 月(23 日)	13	42	10	24	0	0	1	2	2	5		
合 計	409	1,149	287	751	18	48	6	15	79	171		
平均(月当り)	9.5	26.7	6.7	17.5	0.4	1.1	0.1	0.4	1.8	4.0		
平均(日当り)	0.4	1.1	0.3	0.7	0.02	0.05	0.01	0.01	0.08	0.16		

### 3 コミュニティタクシーの利用状況

祖父江町地内で運行しているコミュニティタクシーは、コミュニティバスの運行路線変更及び運行便数増加に伴って、タクシー乗り場の新設・移設またはバス停留所への変更を行いました。が、タクシー乗り場数 12 か所は変更していません。

なお、タクシー乗り場と接続するバス停留所は、施設の休館日、利用者の安全面を考慮して「祖父江の森」から「祖父江支所」に変更しています。

平成 22 年 7 月 1 日から平成 26 年 1 月 31 日までのコミュニティタクシーの利用者状況は、11 ページの表のとおりです。

1 か月当りの平均利用件数は、試行運行期間中の同件数 4.5 件から 1.3 件(約 71%減)と、より低調となっています。

これは、定期的な利用があったタクシー乗り場「中屋敷」、「長岡」、「神明津」、「中牧」を、バス停留所に変更したことが理由の一つであると考えております。

○ コミュニティタクシーの利用件数及び利用者数

年 月	利用件数 〔単位：件〕	利用者数 〔単位：人〕	年 月	利用件数 〔単位：件〕	利用者数 〔単位：人〕
平成 22 年 7 月	3	4	6 月	2	2
8 月	1	1	7 月	2	2
9 月	0	0	8 月	1	1
10 月	2	6	9 月	3	4
11 月	2	2	10 月	3	5
12 月	2	2	11 月	1	4
平成 23 年 1 月	0	0	12 月	2	2
2 月	0	0	平成 25 年 1 月	0	0
3 月	4	8	2 月	0	0
4 月	0	0	3 月	1	2
5 月	2	2	4 月	0	0
6 月	2	2	5 月	0	0
7 月	1	1	6 月	0	0
8 月	0	0	7 月	0	0
9 月	0	0	8 月	2	3
10 月	0	0	9 月	5	5
11 月	1	1	10 月	6	6
12 月	2	2	11 月	1	1
平成 24 年 1 月	1	1	12 月	1	2
2 月	2	2	平成 26 年 1 月	0	0
3 月	0	0			
4 月	3	3	計	58	76
5 月	0	0	1 か月の平均	1.3	1.8

この利用状況を、区間別に往路（各タクシー乗り場⇒停留所「祖父江支所」）と復路（停留所「祖父江支所」⇒各タクシー乗り場）に分けて見てみます。

11～13 ページに掲載した表は往路の利用状況で、本格運行 1 年目は「富士美ヶ丘」が 5 件、「ナビタウン」と「馬飼」が各 2 件、「甲新田」と「野田北」が各 1 件の利用がありました。同 2 年目は「ナビタウン」で 2 件、同 3 年目は「甲新田」と「大牧」で各 1 件、同 4 年目は、「富士見ヶ丘」で 1 件、「二俣」、「ナビタウン」で 2 件、「大牧」で 4 件の利用となっています。

タクシー乗り場全 12 か所のうち 5 か所では、1 件も利用が無い状況が続いています。

○ コミュニティタクシーの区間別利用状況

往路（各タクシー乗り場⇒停留所「祖父江支所」）

※（ ）は人数

	乗車停留所	利用件数	月 計
平成 22 年 7 月	富士美ヶ丘	1 (1)	2 (3)
	ナビタウン	1 (2)	
8 月	—	0 (0)	0 (0)
9 月	—	0 (0)	0 (0)
10 月	甲新田	1 (3)	1 (3)
11 月	ナビタウン	1 (1)	2 (2)
	富士美ヶ丘	1 (1)	
12 月	富士美ヶ丘	1 (1)	2 (2)
	富士美ヶ丘	1 (1)	
平成 23 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
2 月	—	0 (0)	0 (0)
3 月	馬 飼	1 (1)	3 (5)
	馬 飼	1 (3)	
	富士美ヶ丘	1 (1)	
4 月	—	0 (0)	0 (0)
5 月	野田北	1 (1)	1 (1)
6 月	—	0 (0)	0 (0)
<b>1 年目の計</b>			<b>1 1 (16)</b>
7 月	—	0 (0)	0 (0)
8 月	—	0 (0)	0 (0)
9 月	—	0 (0)	0 (0)
10 月	—	0 (0)	0 (0)
11 月	—	0 (0)	0 (0)
12 月	—	0 (0)	0 (0)
平成 24 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
2 月	—	0 (0)	0 (0)
3 月	—	0 (0)	0 (0)
4 月	ナビタウン	1 (1)	1 (1)
5 月	—	0 (0)	0 (0)
6 月	ナビタウン	1 (1)	1 (1)
<b>2 年目の計</b>			<b>2 (2)</b>
7 月	—	0 (0)	0 (0)
8 月	—	0 (0)	0 (0)
9 月	—	0 (0)	0 (0)
10 月	甲新田	1 (2)	1 (2)
11 月	大 牧	1 (4)	1 (4)
12 月	—	0 (0)	0 (0)

( )は人数

	乗車停留所	利用件数	月 計
平成 25 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
2 月	—	0 (0)	0 (0)
3 月	—	0 (0)	0 (0)
4 月	—	0 (0)	0 (0)
5 月	—	0 (0)	0 (0)
6 月	—	0 (0)	0 (0)
<b>3 年目の計</b>			<b>2 (6)</b>
7 月	—	0 (0)	0 (0)
8 月	二 俣	1 (2)	2 (3)
	富士美ヶ丘	1 (1)	
9 月	大 牧	1 (1)	1 (1)
10 月	大 牧	3 (3)	4 (4)
	ナビタウン	1 (1)	
11 月	ナビタウン	1 (1)	1 (1)
12 月	二 俣	1 (2)	1 (2)
平成 26 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
<b>4 年目の計</b>			<b>9 (11)</b>
<b>合 計</b>			<b>2 4 (35)</b>

13～14 にページに掲載した表は復路の利用状況で、本格運行 1 年目は「大牧」が 3 件、「山崎」、「甲新田」、「馬飼」、「野田北」が各 1 件の利用となっています。

同 2 年目は「大牧」が 9 件、「馬飼」が 1 件と、件数は微増したものの、利用があった乗り場の数は 5 か所から 2 か所へ減少しました。

同 3 年目は「大牧」が 6 件、「甲新田」が 2 件、「西鶴之本」、「富士美ヶ丘」が各 1 件、同 4 年目は「大牧」が 6 件となっています。

タクシー乗り場全 1 2 か所のうち 4 か所では 1 件も利用が無い状況が続いています。

**復路（停留所「祖父江支所」⇒各タクシー乗り場）** ※ ( )は人数

	降車停留所	利用件数	月 計
平成 22 年 7 月	山 崎	1 (1)	1 (1)
8 月	大 牧	1 (1)	1 (1)
9 月	—	0 (0)	0 (0)
10 月	甲新田	1 (3)	1 (3)
11 月	—	0 (0)	0 (0)
12 月	—	0 (0)	0 (0)
平成 23 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
2 月	—	0 (0)	0 (0)
3 月	馬 飼	1 (3)	1 (3)

※ ( )は人数

	降車停留所	利用件数	月 計
4月	—	0 (0)	0 (0)
5月	野田北	1 (1)	1 (1)
6月	大 牧	1 (1)	2 (2)
	大 牧	1 (1)	
<b>1年目の計</b>			<b>7 (11)</b>
7月	大 牧	1 (1)	1 (1)
8月	—	0 (0)	0 (0)
9月	—	0 (0)	0 (0)
10月	馬 飼	1 (1)	1 (1)
11月	—	0 (0)	0 (0)
12月	大 牧	1 (1)	2 (2)
	大 牧	1 (1)	
平成 24 年 1 月	大 牧	1 (1)	1 (1)
2月	大 牧	1 (1)	2 (2)
	大 牧	1 (1)	
3月	—	0 (0)	0 (0)
4月	大 牧	1 (1)	2 (2)
	大 牧	1 (1)	
5月	—	0 (0)	0 (0)
6月	大 牧	1 (1)	1 (1)
<b>2年目の計</b>			<b>1 0 (10)</b>
7月	大 牧	1 (1)	2 (2)
	大 牧	1 (1)	
8月	西鶴之本	1 (1)	1 (1)
9月	大 牧	1 (1)	3 (4)
	富士美ヶ丘	1 (2)	
10月	甲新田	1 (2)	2 (3)
	大 牧	1 (1)	
11月	—	0 (0)	0 (0)
12月	大 牧	1 (1)	2 (2)
	甲新田	1 (1)	
平成 25 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
2月	—	0 (0)	0 (0)
3月	島 本	1 (2)	1 (2)
4月	—	0 (0)	0 (0)
5月	—	0 (0)	0 (0)
6月	—	0 (0)	0 (0)



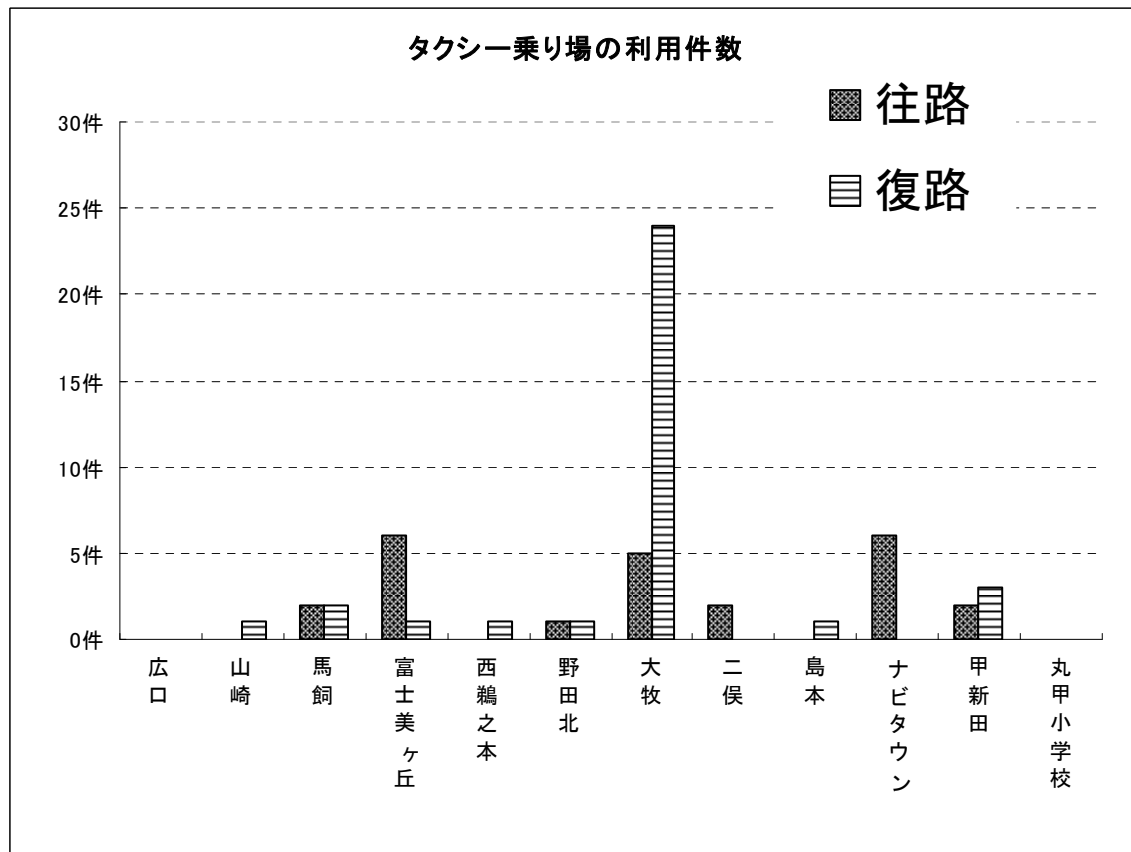
※ ( )は人数

	乗車停留所	利用件数	月 計
<b>3年目の計</b>			<b>11 (14)</b>
7月	—	0 (0)	0 (0)
8月	—	0 (0)	0 (0)
9月	大 牧	4 (4)	4 (4)
10月	大 牧	2 (2)	2 (2)
11月	—	0 (0)	0 (0)
12月	—	0 (0)	0 (0)
平成 26 年 1 月	—	0 (0)	0 (0)
<b>4年目の計</b>			<b>6 (6)</b>
<b>合 計</b>			<b>34 (41)</b>

15 ページのグラフは、前掲の区間別利用状況の表を元にして、各タクシー乗り場の利用件数を表したものです。

本格運行開始後、「広口」、「丸甲小学校」は1件の利用もない状況が続いています。

今後、『運行事業計画』の見直しを行うに当たり、利用状況を踏まえたコミュニティタクシー運行の継続性を検討することに加え、運行区域を市内全域に拡大し、コミュニティバス運行路線の設定がない地域への交通手段とすることが考えられます。



#### 4 コミュニティバスの利用者1人当りの運行経費における市負担額

コミュニティバスの運行経費における市負担額は、運行事業者（名鉄西部交通株式会社）と契約した運行管理委託料から利用料金を差し引きした額となります。

そのため、利用者数が多いほど、市が負担する運行経費は少なくなります。

今後、限られた財源の中で利便性の向上を目指して『コミュニティバス運行事業計画』の見直しを検討していく上で、運行経費は重要な項目の一つと考えています。

17 ページからのグラフは、各運行路線の平成 22 年 7 月 1 日の本格運行開始から 1 年目（平成 22 年 7 月 1 日から平成 23 年 6 月 30 日まで）、2 年目（平成 23 年 7 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで）、3 年目（平成 24 年 7 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日まで）におけるそれぞれの利用者 1 人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

なお、各運行路線における運行経費の積算数値は、17 ページの表のとおりです。

【利用者1人当たりの運行経費の積算数値】

項 目	金 額	備 考
祖父江・下津線 ふれあいの郷系統	1日1台当り 43,800円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 44,500円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 44,700円	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	1日1台当り 44,700円	平成25年4月1日～平成26年1月31日
祖父江・下津線 地泉院系統	1日1台当り 42,900円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 43,100円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 43,800円	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	1日1台当り 43,700円	平成25年4月1日～平成26年1月31日
平和・千代田線	1日1台当り 39,500円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 38,900円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 39,700円	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	1日1台当り 39,600円	平成25年4月1日～平成26年1月31日
大里循環線	1日1台当り 38,500円	平成22年7月1日～平成23年3月31日
	1日1台当り 38,000円	平成23年4月1日～平成24年3月31日
	1日1台当り 38,600円	平成24年4月1日～平成25年3月31日
	1日1台当り 38,600円	平成25年4月1日～平成26年1月31日
大里駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 8,453円	平成22年7月1日～平成26年1月31日は、大里循環線の運行経費に計上
国府宮駅乗り入れ 構内営業料	1月あたり 24,000円	平成22年7月1日～平成26年1月31日において、3路線2系統の運行経費に按分して計上
追 加 便	距離制運賃	運行した路線の運行経費に計上

次のグラフ1は、各運行路線の本格運行1年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額は、平成23年1月が579円と最も高く、同年4月の550円と同年3月の459円（最低額）を除いた他の月は、475円～524円の間で推移しています。

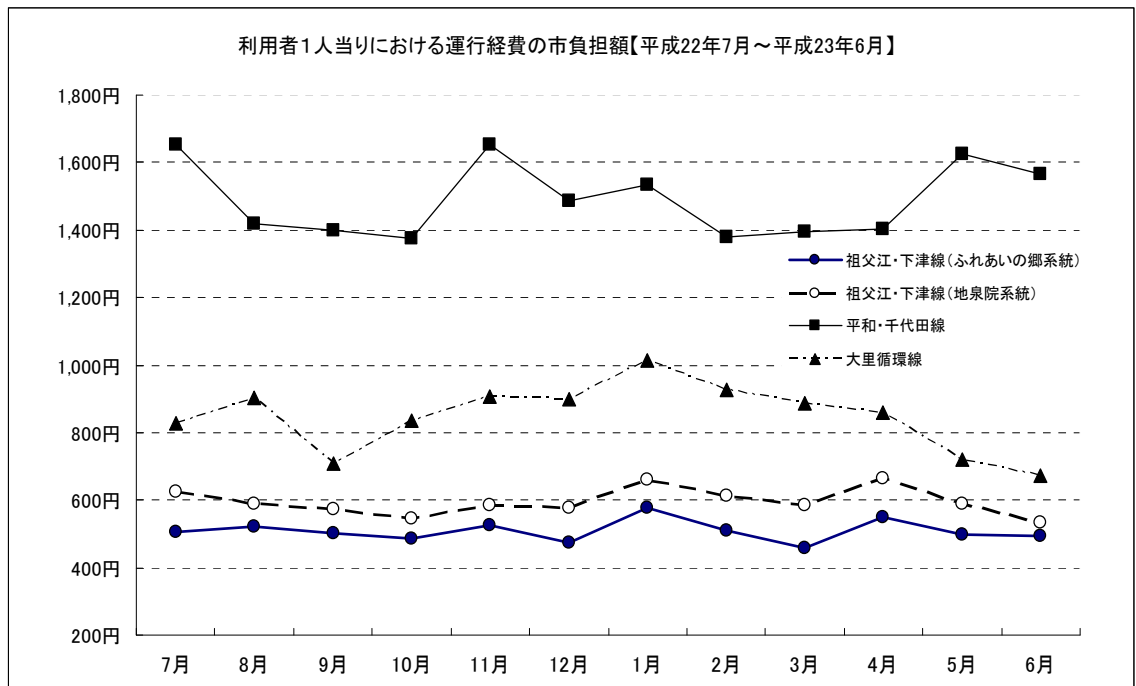
同線 地泉院系統の市負担額は、平成23年4月が663円と最も高く、同年1月の660円と同年6月の532円（最低額）を除いた他の月は、545円～623円の間で推移しています。

平和・千代田線の市負担額は、平成22年7月の1,655円を最高額として1,500円を超える月が5回あり、他の月は1,379円～1,488円の間で推移し、平成22年10月の1,374円が最低額となっています。

大里循環線の市負担額は、平成22年9月、23年1月の1,015円（最高額）、同年6月の674円（最低額）を除いた他の月は、709円～926円の間で推移しています。

なお、各運行路線の市負担額の月平均は、祖父江・下津線 ふれあいの郷系統が508円、同線 地泉院系統が595円、平和・千代田線が1,491円、大里循環線が847円であり、平和・千代田線の市負担額の1か月当りの平均は、祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額の約3倍となっています。

グラフ1



次のグラフ2は、各運行路線の本格運行2年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額は、平成24年1月が552円と最も高く、同年2月の510円を除いた他の月は500円を下回っており、平成23年12月の410円が最も低くなっています。

同線 地泉院系統の市負担額は、平成23年9月が575円と最も高くなっていますが、この月を除いて430円（最低額）～516円の間で推移しています。

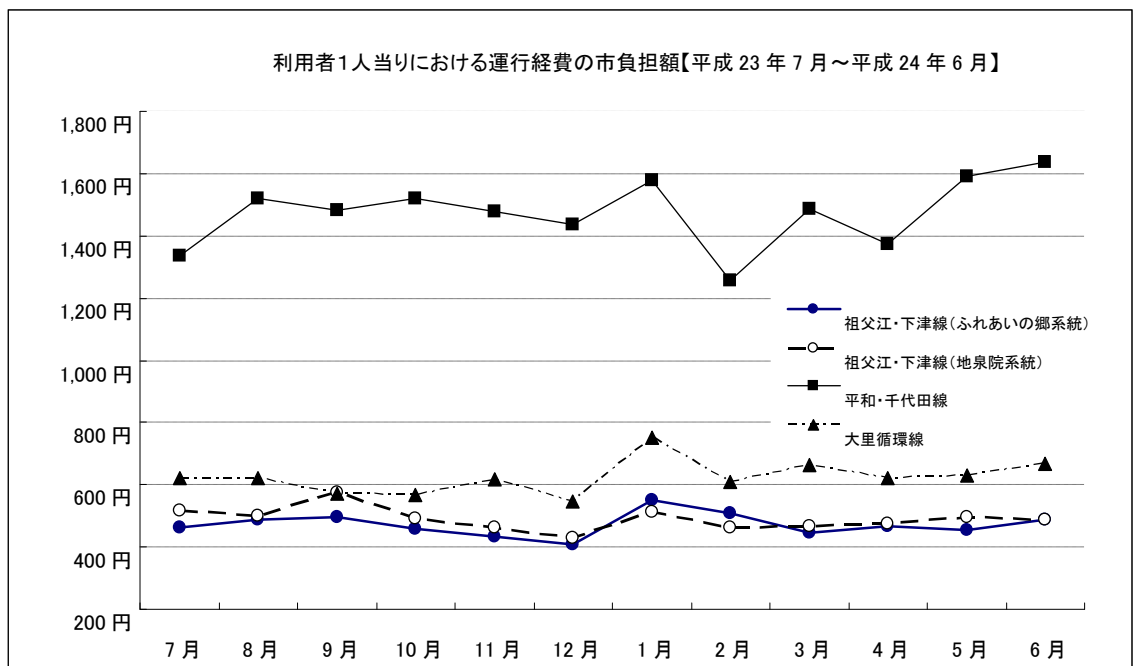
平和・千代田線の市負担額は、平成24年6月の1,639円を最高額として1,500円を超える月が5回あり、他の月は1,255円（最低額）～1,485円の間で推移しています。

大里循環線の市負担額は、平成24年1月が752円と最も高く、この月を除いた他の月は548円（最低額）～667円の間で推移しています。

各運行路線の市負担額の1か月当たりの平均は、祖父江・下津線 ふれあいの郷系統が473円（運行1年目と比べて約7%減）、同線 地泉院系統が490円（同 約18%減）、平和・千代田線が1,475円（同 約1%減）、大里循環線が624円（同 約24%減）であり、これは祖父江・下津線 地泉院系統と大里循環線の利用者数の増加によるものです。

平和・千代田線の市負担額の月平均は、運行1年目と同様に祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額の約3倍となっており、今後、運行路線の見直しを検討するに  
おいて参考にすべき点であると考えています。

グラフ2



次のグラフ3は、各運行路線の本格運行3年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

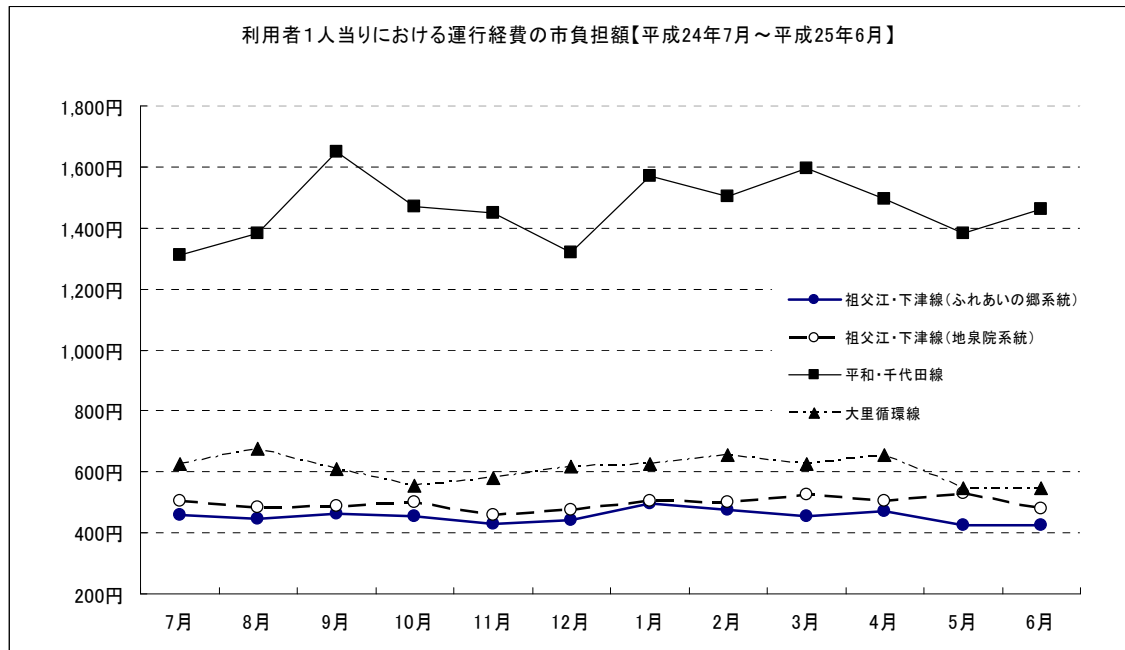
祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額は、平成25年1月の498円を最高額として、400円台で推移しております。

祖父江・下津線 地泉院系統の市負担額は、平成24年8月から12月までは400円台後半で推移していましたが、平成25年1月から5月までは500円を上回っており、年間を通じて、500円前後で推移しているものと考えられます。

平和・千代田線の市負担額は、平成24年9月の1,651円を最高額として、1,300円台から1,600円台で推移しており、その推移幅は300円程度ありますので、他の路線と比較して変動が大きい状況が続いています。

大里循環線の市負担額は、平成24年10月は556円、11月は580円、平成25年5月は547円（最低額）、6月は548円と600円を下回りましたが、おおむね600円台で推移しています。

グラフ3



次のグラフ4は、各運行路線の本格運行3年目の利用者1人当たりの運行経費における市負担額の推移を表したものです。

祖父江・下津線 ふれあいの郷系統の市負担額は、平成25年7月の392円を最低額として、概ね400円台で推移しております。

祖父江・下津線 地泉院系統の市負担額は、平成25年7月から11月までは400円台で推移していましたが、平成25年12月、平成26年1月は500円を上回りました。

平和・千代田線の市負担額は、平成25年8月の1,403円を最高額として、1,200円台から1,400円台で推移しており、同3年目に300円程度あった推移幅は、小さくなってきています。

大里循環線の市負担額は、平成25年10月の566円が最高額で、500円台で推移しており、概ね600円台で推移していた同3年目と比較して、市負担額が下回っています。

グラフ4

